

雁ヶ池通信

web版

創意 勤勉・友愛

GAN-GA-IKE

TSU-SHIN

No.157

2022.5

Spring



令和4年度宿毛工業高等学校入学式



高知県立宿毛工業高等学校

高知県宿毛市平田町戸内 2272-2

TEL 0880-66-0346

FAX 0880-66-1016



学校長挨拶

入学に寄せて ～令和4年度入学式～

百八名の新入生の皆さん入学おめでとうございます。九年間の義務教育を修了し、晴れて本校に入学しました。高校生として第一歩を踏み出し、喜びに溢れていることと思います。教職員をはじめ在校生一同、皆さんのこれまでの努力を讃えるとともに、心から歓迎いたします。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症の最中の入学になりましたがこの感染症をどのように捉えていくか。このことは一つの社会経験としてとらえ臆することなく日々の生活に目標を持ち前向きに学校生活を送ってほしいと思います。

そのような中、本校は今年で六十八年目を迎えます。高知県西南部唯一の工業高校として、創立以来、着実に前進を続けてきました。

この間、本校を巣立った卒業生は七千名を超え、幡多地域はもとより県内外の様々な分野で活躍しております。皆さんには今までの伝統のうえにさらに輝く歴史を築いてくれるものと期待しています。

さて、現在の我が国の状況は、グローバル化、情報化、少子高齢化などを背景に、社会構造や産業構造が大きく展開しています。このような状況の中、皆さん方の若い世代が、これからの日本や高知県で生きていくために、あるいは周りの人々を幸せにするために、どのような力が求められているのでしょうか。

私は、本校の校訓そのものではないかと考えます。本校の校訓は「創意・勤勉・友愛」であります。本校はモノづくりの学校です。創意とは想像力豊かで柔軟な頭脳を持ち何事に対しても創意工夫ができることであります。勤勉はコツコツと積み上げていける誠実さが必要です。また、友愛は他者に対し優しい心を持って接していける人物であるということです。そのような心を持った生徒に育っていただきたいと思っております。新入生の皆さん、宿毛工業高校の生徒として学習や学校行事、部活動、資格取得などに、思い切って挑戦してください。「どうせ無理だ」とあきらめるのではなく、高い志や夢に向かって努力することを心がけ今日から三年間、心身ともに健康で有意義な高校生活を送ることを心から期待しています。

目まぐるしく進歩する工業技術、新学習指導要領に向けた取り組み、これまでの歴史と伝統を継承しながら、常に変化していく社会に、柔軟に対応する力を身につけなければなりません。「チーム宿毛工業」として生徒・保護者・教職員が一丸となり、生徒の夢の実現に向けスタートしましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様には、お子様のご入学おめでとうございます。どうか、本校の教育活動に対し、ご理解をいただきますとともに、良きパートナーとしてのご協力、お力添えをお願い申し上げます。



4月7日に入学生108名を迎え、2年生109名、3年生94名の合計311名となり令和4年度がスタートしました。昨年度も新型コロナウイルスの影響で様々な行事が規模の縮小や中止となりました。まだまだ新型コロナウイルスの影響はありますが、感染症対策を行いながらできるだけ多くの行事を行っていきたくて考えております。

教務部として新学期の初めに当たり、次の重点目標を定め、生徒の進路実現に向けて全教職員で指導してまいります。

まず、『基礎学力定着と学力の向上』のためクラス単位になりますが、様々な検定・資格取得に向けた取り組みを行います。また、今年度も「学習支援員事業」を活用し、定期試験の結果により1・2年生の「国・数・英」については放課後に補習を実施する予定にしています。さらに本校は工業高校ということもあり、実習のレポート提出も頻繁にあります。専門科目のみならず、普通教科でも宿題は出していますので、期限内に提出できるようご家庭の方でも、「宿題は?」「レポートは?」と一言声をかけて頂ければ幸いです。

また、『出席率の向上』に向けて、一人でも多くの皆勤者が出ることを目指し、欠席・遅刻・早退の防止に努めています。昨年度は、現2年生から70名、現3年生から53名、合計123名の皆勤者がおり学校全体のおよそ50%にもなります。これは生徒本人の努力もさることながら、ご家庭での協力があったのもです。雨天の日は少し早く家を出よう声掛けをしていただき、また体調管理にも気をつけていただければと思います。

朝のショートホームから全員が顔を揃え、1時間目の授業に入っていくことで、落ち着いた学習環境が確保され、実習等での怪我の防止や学力向上にもつながると考えています。

最後に、欠席する場合や事情があって遅刻をするときなどは、必ず保護者の方が「すぐーる」等で学校に連絡をいただけるよう合わせてご協力をお願いいたします。

I 基礎学力の定着と学力の向上を図る

1. 授業時間の確保と充実
 - a. 授業評価システムの活用
(生徒にわかる授業の展開・公開授業の実施)
 - b. 50分間の有効利用
2. 中途退学者の防止と欠点保有者の減少

II 出席率の向上を図る

1. クラス平均99%以上の出席率を目指す
2. 皆勤者の増加をめざす
3. 欠席、遅刻、早退の防止に努める

III 安全教育の徹底

1. 実習・実験及び体育時における怪我の防止

『自分はどんな人生を歩んでいきたいか?』

進路指導部

平成30年の春、高校を卒業して就職した者は約17万人でしたが、3年以内に36.9% (約5人中2人) が離職をしており、若者の雇用が依然として深刻な状況に陥っています。(令和3年10月厚生労働省資料)

高校を卒業して正社員として企業に採用された場合、手取りは約11~14万円です。残業もあるし、毎日働かなければなりません。自分の都合で仕事時間を変更することはできません。責任も重く大変かもしれませんが、頑張って続けていくことで、一人前になっていきます。そこから可能性が広がり、収入も確実に増えていきます。

フリーターはどうでしょう。800円の時給で、1日7時間、月に20日働いたとします。1ヶ月あたりの収入は11万2千円。事前に連絡すれば仕事時間の融通もききます。親元で生活するなら魅力はあります。なぜなら、住宅費や光熱費、食費がかからないから。雇う側からしても、20歳前後の若くて元気のある人材が安く雇えるので大歓迎です。しかし、いざ病気になった時、景気が悪くなった時、一番弱い立場がフリーターです。

正社員とフリーターの生涯賃金の差は1億円以上にもなるといわれているなかで、フリーターを何年間も続けていけるでしょうか。10年後の生活をイメージしてみること、自分がこの先どんな人生を歩んでいきたいかと考えることが進路を考えるスタートになります。目標を定め、それを達成できるように努力をしましょう。

スクールカウンセラーの紹介

生徒サポート部

昨年度に引き続きお世話になります。スクールカウンセラーの八木です。毎週火・木に来校しております。まだまだ皆さんに教えていただくことばかりですが、皆さんが色々な気持ち・考えに耳を傾ける時間が築けるようにサポートできたらと思っております。掃除や休み時間に校内を徘徊していますので、見かけたら気軽に声をかけてください。本年度もよろしく願いいたします。

八木先生は、毎週火・木曜日の9:00から17:00まで、
食堂南側のログハウスにいます。



◆令和4年度 入学式・対面式・部活紹介◆

～入学式～

今年度は108名の生徒が入学しました。高校生活というのはあっという間に過ぎていきます。3年間という限られた時間を悔いが残らぬよう懸命に駆け抜けてください。



入学生代表宣誓

今年度は、中村中学校出身電気科の野村さんが務めました。

一言一言に思いを含め、入学生代表という大役を見事に果たしました。

～対面式、部活動紹介～

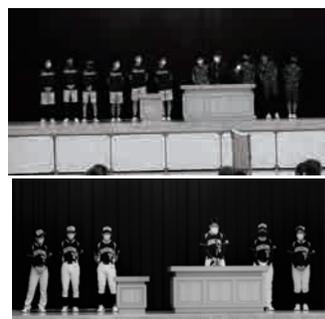
対面式では、生徒会長の川上君からの歓迎の言葉のあと、宿毛中学校出身建設科建築専攻の松本さんに挨拶をしてもらいました。生徒会役員から1年生の各クラスに、記念樹セロームが贈呈されました。3年間クラスと共に成長していくので、大切に育ててください。



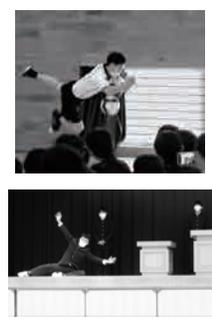
新入生あいさつ



記念樹贈呈



部活動紹介



信頼といのちを大切に

生徒指導部

慌ただしく新年度のスタートを切りました。今年度も引きつづきコロナウィルス感染症の予防対策を怠らず、日々の生活を過ごしていきましょう。

今回の内容は、「信頼といのちを大切に」です。学校は勉強だけではなく、集団生活を学ぶ場でもあります。個人の行動が宿毛工業高校全体を指すことも多々あります。自分の行動には責任を持つようにしましょう。信頼は日々の積み重ねです。周りの人に迷惑をかけないように思いやりのある行動を心がけて、信頼をなくさせないようにしましょう。

次に「いのち」についてです。あなたの命はあなただけのものではありません。自分の命と周りの人の命が守れる人であって欲しいです。

本校で人生を左右させるリスクが1番高いのが原付バイクの運転です。利用者は交通違反がないように安全運転を心掛けてください。

また、いじめには厳しい指導をします。多様性を認めることができる大人へと成長することを期待しています。

宿毛工業高校での3年間の経験が君たちの将来の宝となるように全力でサポートしていきます。